

東北地方太平洋沖地震における集荷等の情報について

3月17日（木）以降における集荷等の見通しについて

（水産物部）

1 集荷の状況

- ・ 道外品については、震災による通行止め、交通規制、給油規制等によって輸送障害が発生しているが、西日本方面等から航空便で輸送が可能（空輸は量的な制限あり）。
- ・ 道内品については、輸送面の問題が発生していないこと、また、日本海及びオホーツク海方面で漁が行われていることから、当市場への供給量が不足するような事態にはならない見込みである。
- ・ 太平洋側の津波の影響で一部の漁港に機能障害が発生しているが、機能回復に伴い、順次、出漁すると思われる。
- ・ 太平洋側の各漁港の出漁状況は、現在調査中であり、今週中には全体像が把握できる。

2 価格動向

- ・ 現在、極端に値上がりしている物品はない。
- ・ 地震の影響による品薄状態の発生により、海藻（三陸）、カキ（厚岸）、ホタテ（噴火湾）、穴子、アワビ等について値上がりする可能性がある。

（青果部）

1 集荷の状況

- ・ 地震による交通基幹が寸断されており、本州からのトラック陸送時間が読めないため、延着している状態である。
- ・ 災害地からの集荷が途絶えた野菜については、他の産地へ振り替えし、空路で集荷を対応。
- ・ 各産地での出荷態勢は整っていることや、産地の野菜を確保していることから、集荷に問題はない（2～3割り程度減少する可能性はある）。

2 今後の見通し（価格動向）

- ・ 一部の品目は災害地からの集荷が途絶えたことで価格が高騰している。
- ・ 一般消費者は品薄の不安感から、商品の先買いなどにより、一部の品目に品薄状態が見受けられ、需給関係から高値になる。
- ・ 秋冬物から春野菜への切り替え時期でもあるため、一時的に価格の変動はあるが、安定する見込みである。